



ナラヲヨム

第11号 2008年8月20日発行

発行者●ナラヲヨム発行委員会 発行責任者●乾昌弘 企画編集●奈良県立図書館

Vol.11  
2008.8

ナラヲヨム。

100%

ならでつくる

—土とともに生きる



▲収穫作業風景

▲バラ栽培温室

—奈良ブランド Heguri Rose—

結婚披露宴やパーティーを華やかにまた厳かに演出するバラ、心を伝えるバラ、さまざまな想いをのせて、ここ平群から。

平群町の産業の中心は農業である。県内でも専門農家率が高く、都市近郊の利便性をいかにした農業が展開されている。大規模な住宅開発も進み、人口も2万人を超えている。平群温室バラ組合は、標高100メートル前後、信貴生駒山系の中腹、平群町福貴・越木塚集落にある。もともと路地野菜を中心とした農業の盛んな地域であるが、土地基盤が悪いため、農地の集積と団地化を図り、企業の農業経営に転換する共同栽培への取り組みがなされる。高度成長期に洋花栽培に着目し、ガラス温室を利用したバラの周年栽培に取り組むことになった。昭和48年、7戸の農家によって平群温室バラ組合の活動が始まった。



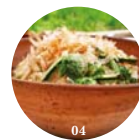
やすらぎと華やぎを演出するバラ

特集

ならでつくる「土」ともに生きる



07 撮影 西田 敦



04



01

ナラヲヨム Vol.11

CONTENTS

16	14	12	08	07	01
編集後記	NARA発信倶楽部 ・企業人に聞く 奈良トヨペット株式会社取締役社長 菊池武之祐氏	連載「こころを描く」 ・なら国際映画祭が「地方の元気再生事業」に選定！	若い奈良 ・健一自然農園代表 伊川健一氏	奈良の街角 ・古墳に似せてつくられた防空壕 図書館トピックス ・燈火で彩る図書館の夕べ	特集「ならでつくる「土」ともに生きる」 ・やすらぎと華やぎを演出するバラ ・山添の自然と奈良の風情が育む作品の数々



●平群温室バラ組合  
〒636-0936 奈良県生駒郡平群町福貴432  
TEL.0745-46-1187 FAX.0745-46-1611

特集 ならでつくる一土とよみに生きる



Heguri Rose店内



組合長の奥田兼一さん

Heguri Rose ブランドの鮮度と品質のために

**出** 荷を待つバラの中には、オレンジ、ベージュ、ユ、緑、紫といった珍しい色のもの、絞りの入ったもの、グラデーションのあるものなど、さまざまな品種がある。多品種少量、多様化が進んでおり、「従来から定番とされているバラから、珍しい新種や海外品種の生産にも積極的に取り組んでいて、現在は約100種類のバラを周年栽培しています。いち早く消費者のニーズに対応できるように、苗組合「Heguri Rose」で苗も生産しながら、今後多様な品種を生産していく予定です。」

**平** 群温室バラ組合をまとめるのは組合長の奥田兼一さん。「父がバラを作っている姿を見て育ちました。そして、20歳の時、バラ作りを引き継ぎました。ちょうどその頃、父が体調をくずした時期でもあったのですが、後を継ぐのに迷いはありませんでした。昭和48年にはじまった組合のバラ園約1300坪を引き継いだのが、平成元年頃です。」

**父** の世代から引き継いだバラの生産は、Heguri Rose」という確固としたブランドに成長しつつある。ここ平群で生まれ育った奥田さんのバラを生産することへの想いは、「花をもらって嫌な顔をする人はいないと思うんです。人の心を和ませるもの、喜んでもらえるものをつくっているんだということが誇りですね。」

「バラは鮮度が命です。朝一番で切り出しされたバラは、朝9時に平群温室バラ組合に運び込まれます。切りたてのバラは冷蔵庫で少し冷されたあと、生産者ではなく、組合に勤める第三者が選別します。自分で作って自分が等級を付ける一般農家とは違って、ここでは客観的な選別が行われ、一定の品質が保たれるわけです。われわれの組合は生産組合ではなく共同選別出荷組合なのです。」

選別されたバラは、水の入ったポット容器に茎の切り口を浸けて梱包され、5℃に保たれた冷蔵庫の中で出荷を待ち、午後、大阪の市場に出荷される。

近くの人から、「バラを分けてほしい。」との話がきつかけでできたのが、「Heguri Rose」というアンテナショップ。大きな窓から明るい日差しが入る店内には、何十種類ものバラが所狭しとならべられ、ほのかに香りが漂っている。バラの花だけでなく、バラを楽しむための花瓶などの雑貨やバラ関係の書籍なども置かれている。



選花作業風景



●Heguri Rose Since 05.12.14  
 営業時間/10:00~18:00 定休日/日曜日  
 〒636-0936 奈良県生駒郡平群町福貴403  
 TEL.0745-46-1214 FAX.0745-46-3131



# 山添の自然と奈良の風情が 育む作品の数々



窯たき



梅雨があげ、夏本番、とはいえ、ここ山添村の山間には町中にはない、少し冷涼な空気が流れていました。数日前、信楽のギャラリーでの個展を終えたデビット モリソン バイクさん、山添村に住むことになったいきさつから話が始まります。



デビット モリソン バイク さん

**米** 国生まれの米国育ちで、青春時代はカリフォルニアで過ごしました。カリフォルニア州立大学ロングビーチ校を卒業したのですが、26歳で卒業するまで、測量関係のアルバイトをやりながら、自転車でもアメリカ、ヨーロッパを旅行したり、約1年間、インドや東南アジアなどを旅行しました。  
日本に来ることになったきっかけは、インドで妻と知り合い、結婚することになったからです。結婚後は、大阪府柏原市に住んでいたのですが、大阪よりも奈良の町並みや自然に惹かれ、よく二人で奈良の神社仏閣を訪れたり、奈良町を散歩したりしていました。  
そんなある日、たまたま陶器を展示しているギャラリーをのぞいた際に、初めて出会った南蛮焼や唐津などにたいへん興味をそそられました。それが高じて独学で陶芸を始めたのですが、97年に川淵直樹先生のもとで南蛮焼を学び、その後本格的に作陶の道に入ったわけです。最初、奈良県の三郷町に一



バイク夫妻

軒家を見つけて約5年間過ごしましたが、どうせやるなら本格的にやりたかったので、登り窯をもちたいと思ったわけです。町中では無理ですし、借りるのではなく土地を手に入れたいとも思っていました。また、大阪で住むのは難しいと思っていたので、奈良でそのような条件の土地を探しました。  
その頃、ここ山添村で芸術家村建設の構想があるということを知りまして、それがきっかけで山添村にやってきたわけです。この構想はすぐに流れたのですが、地元の方（元村長さんなのですが）に、土地を譲っても良いといっていたら、この土地を手に入れることができました。普通、外の者が「村入り」するのはたいへんなのですが、この土地は、もともと茶畑で、家を建てるため、草刈りから根堀まですべて自分でやっていたので、そんなことが村の方々にも認めてもらえ、信用も生まれ、村に入ることができたのだと思います。

## 奈良で作陶するということ。

奈良の魅力というと、神社仏閣、町並み、豊かな自然、これらがうまく調和されていて、その美しさに惹かれます。つくっているものの関係で、滋賀県の水口や淡路島とれる土を使っていますが、町に住んでいては作れない何かがあると思います。自然と歴史、そして風情が醸し出す雰囲気、私の作品に大きく影響していると思っています。  
登り窯ですが、近くの神野山の松の薪を使っています。この薪は松食いや、整備で切り倒されたものを私自身が細かく切り分け、自宅に運び新にします。山を整備するかわりに無償で提供していただいていた

登り窯火入れ口▼

▼登り窯内部

▼工房

登り窯▼ ▼周辺の風景





ます。もつとも、これはたいへんな重労働ですが、しかし、薪窯で作ると、ガス窯では出せない味が出てきます。

この窯は、最初、900度になるまでに3日間、その後2日ほどで1100度くらいまで温度を上げ、1週間くらいかけて50度まで下げます。年間6回くらい焼きます。

南蛮焼の魅力は、表面に鉄粉がのり、独特の味わいがあります。一見、備前焼とよく似ているように見えるのですが、もつと野性味というか土っぽい自然な感じがあると思います。そんな素朴さが、山添の自然とも相通じるものがあると思います。

山添での作陶のこれから

私がつくる陶器はもちろん芸術作品ですが、お皿は料理がのせられて、お茶が注がれて、そして花瓶は花が活けられて、はじめて完成するのではないかと思います。だから、単に飾られていたり、仕舞われていたりしては、本来のよさが出てこないと思います。料理、お茶、花といった分野とのコラボレーションなども考えていきたいと思っています。たとえば、山添のお茶とお湯のみをセットにするとか。

また、ネットセールスにも力を入れて行きたいですね。ここを拠点にネットを使い、奈良のよき、日本のよさを欧米へ紹介をしたいと思っています。

私の作品には、この奈良の、そして山添の自然と風土が育んだ香りみたいなものがあると思います。今後とも、自然に逆らわず生活し、作陶を続けたいと思います。(談)



手づくりのろくろ



●デビット モリソン バイク  
David Morrison Pike  
〒630-2202 奈良県山辺郡山添村の野15番  
TEL.090-9614-9422  
<http://davidmorrisonpike.com/japanese/index.htm>  
pikenara@yahoo.co.jp

奈良の街角 第5号



撮影 西田敦

空襲を避けるため、古墳に似せてつくられた防空壕

天理市岸田町

奈良は言うまでもなく文化財の宝庫である。しかし、だからといって時代の波を避けて通ってきた結果であるわけではない、ということ写真展「大和からもうひとつつたえたいことー奈良・戦災の記憶ー」(平成20年7月23日(水)〜8月3日(日)開催)は、その事実をわれわれに突きつけるのである。

奈良をはじめ、いくつかの古都は、その文化財ゆえに、戦災を免れたという通俗説を覆すに十分な傷痕がそこに残っているという事実のもつ重みが胸に迫る。それは、近代の奈良の姿を切り取り、記憶にとどめることでもある。

この写真展を機に、『大和からもうひとつつたえたいことー奈良・戦災の記憶ー』(やまとびと編集部/撮影 西田敦)という同名の写真集が出版された。

図書館トピックス

燈火で彩る 図書館の夕べ



去る7月5日(土)6日(日)に、図書館正面玄関付近で、奈良女子大学インターン学生の企画・運営によるなら燈花会プレイベント「燈火で彩る図書館の夕べ」を開催しました。燈花会カップによるあかりイベントで、開館以来、初めての企画でした。6日には、奈良女子大学箏曲部による野外ミニコンサートも開催され一層幽玄な雰囲気醸し出されました。

「聖なる土地を汚さず、  
人を汚さぬように」  
まじると智恵を受け継ぎ、土とともに成長する



*profile*  
健一自然農園代表 伊川 健一  
(奈良市下深川町)

高校時代にテレビで自然農法を知り、自然の中で自分の食べるものは自分で作る暮らしをしたいと考え、三重の赤目自然農塾で自然農を学ぶ。19歳から大和高原で、お茶と野菜づくりを自然栽培で始める。8年目の今も何とか収支トントンでやりくりしているが、少しずつ信頼関係を結び、今では村1番の茶畑を任されている。大和高原都祁の風土に沿った方法と製茶、販売を模索しつつ、人に、そして土に優しい大和茶づくりを目指している。

年経ちました。

●土と付き合うことってどういうことだと思いますか？

土との暮らし、土と付き合うこと、そうですね、土は嘘をつかない、正直です。でも、手を入れすぎてもだめなんです。目が届く範囲で、土とじっくり付き合いながらつくっていく。最初は、自給自足を目指して始めたんですけど、やがて、そんな農業に共感した仲間が増え、役割を分担することで目が届く範囲も増えていくことになりました。もちろん、生活していかねばならないですから、生産して売るといいうこともやるんですが、つくることに自分たちのメッセージをのせていけたらと思うんです。

●はじめて都祁に来た頃からお茶をつくってたんですか？

最初の頃は、自然農法で野菜の多品目栽培をやっていました。つくったものを宅配してたんなんです。でも、これは、すごく忙しい上に食べていけないかんなんです。若い人がこんなかたちで農業を始めても、もつと違うカタチにシフトしていくのを耳にします。僕の場合は、この都祁のお茶に目がいったんです。また、その土地その土地にあったものをつくればいいんだよって、いつてくださる方もいたんで。

●都祁のお茶、大和茶というやつですね。

都祁の茶栽培も、その当時でも昨今の農

# 若い奈良 No.11

1300年の伝統をもつ奈良。長い歴史に新たなページを創る若い力があります。新しい風の“今”をお伝えます。

車は山の中の道なき道を走る。こんな山中に家があるのかと思っていると、おもむろに車が止まった。眼下に茶畑が広がっている。昨夜降った雨で、一層緑が鮮やかだ。インタビューは茶畑の中で始まった。

●ここは？

僕が栽培している一番広い茶畑です。4000坪くらいあるかな。

●農業をしようと思ったきっかけは？

自然のなかで、ただ小鳥や虫のようにつたりと素朴に暮らしたいという気持ちが強くなり、そのとき同時に、社会に対する反骨精神もあり、自然に向かうようになり11

業環境の例に漏れず、生産者の高齢化が進み、後継者不足から、茶畑の荒廃が進んでいます。最初に借りた茶畑は、15年も放置されていたので、お茶の木が3メートルにもなっていて、ジャングル状態で、先に進めないほどだったんですよ。

僕は、そんな荒廃した茶畑を見ていて、ここで農業をすることについて考えたんです。農業をすること、土と生きるってことは、「受け継ぐ」こと

だと思っただけです。畑を受け継ぐだけではなく、こころや智恵、技術を受け継いで、つくり、伝えること、だと思っただけです。70代、80代の人の智恵、想い、技術を若い人間が受け継ぎ、伝えるということなんです。

●受け継ぎ、伝えるっていいことばですね。目に見える土地だけではなく、こころや想いを伝えるってどういうことですか？

僕たちには、つくるだけではなく、ナビ



▲友人がつくっている自然農法の田んぼ

WAKAI NARA

●仲間も増えているのですね。  
今、僕らの仲間が、桜井や室生、大宇陀などの村に入り、その土地にあった農業を自然農法で行っています。近い将来、農業

●仲間も増えているのですね。  
今、僕らの仲間が、桜井や室生、大宇陀などの村に入り、その土地にあった農業を自然農法で行っています。近い将来、農業

●若い人が生き甲斐がもてる仕事があって、それなりの収入で生活していける、しかも土とともに。

●若い人が生き甲斐がもてる仕事があって、それなりの収入で生活していける、しかも土とともに。

●でも、商売として成り立つ必要もありませんよ。

●でも、商売として成り立つ必要もありませんよ。

●なるほど、まさに、受け継ぎ、伝えるということですね。

●なるほど、まさに、受け継ぎ、伝えるということですね。



▲構想ノート

▼福井さんと共に働いてきた茶工場

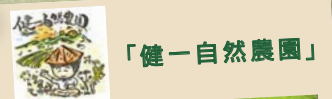


▲4000坪の茶畑～福の畑～

▼茶畑を貸していただいている福井さんと



▲最初に借りた茶畑～東風の畑～



「健一自然農園」



〒632-0101 奈良市下深川町669  
TEL/FAX : 0743-84-0790  
携 帯 : 090-1482-3093  
E-mail : yamatokokoro@ezweb.ne.jp  
U R L : http://cyaen.fai-system.com/

●具体的には？  
紅茶やウーロン茶等製茶を工夫したり、若い人も手にとりやすいパッケージを考えたり。

●具体的な方向に進んで行きたいですか？  
将来的には、自然のなかで癒され元気になる、いわば自然のテーマパークみたいなことができればいいなと思っています。いろいろな「つくること」が相互に良い効果を生み、それが体験などを通じて理解や楽しみにつながってゆくような、そんなことになるといいなと思っています。たとえば、製茶に間伐材が使えないか、山を手入れしながら製茶する。山を森林を育てながら、お茶を栽培し、製茶する。自然を直に感じ

●具体的な方向に進んで行きたいですか？  
将来的には、自然のなかで癒され元気になる、いわば自然のテーマパークみたいなことができればいいなと思っています。いろいろな「つくること」が相互に良い効果を生み、それが体験などを通じて理解や楽しみにつながってゆくような、そんなことになるといいなと思っています。たとえば、製茶に間伐材が使えないか、山を手入れしながら製茶する。山を森林を育てながら、お茶を栽培し、製茶する。自然を直に感じ

●具体的な方向に進んで行きたいですか？  
将来的には、自然のなかで癒され元気になる、いわば自然のテーマパークみたいなことができればいいなと思っています。いろいろな「つくること」が相互に良い効果を生み、それが体験などを通じて理解や楽しみにつながってゆくような、そんなことになるといいなと思っています。たとえば、製茶に間伐材が使えないか、山を手入れしながら製茶する。山を森林を育てながら、お茶を栽培し、製茶する。自然を直に感じ

●具体的な方向に進んで行きたいですか？  
将来的には、自然のなかで癒され元気になる、いわば自然のテーマパークみたいなことができればいいなと思っています。いろいろな「つくること」が相互に良い効果を生み、それが体験などを通じて理解や楽しみにつながってゆくような、そんなことになるといいなと思っています。たとえば、製茶に間伐材が使えないか、山を手入れしながら製茶する。山を森林を育てながら、お茶を栽培し、製茶する。自然を直に感じ

●具体的な方向に進んで行きたいですか？  
将来的には、自然のなかで癒され元気になる、いわば自然のテーマパークみたいなことができればいいなと思っています。いろいろな「つくること」が相互に良い効果を生み、それが体験などを通じて理解や楽しみにつながってゆくような、そんなことになるといいなと思っています。たとえば、製茶に間伐材が使えないか、山を手入れしながら製茶する。山を森林を育てながら、お茶を栽培し、製茶する。自然を直に感じ



bean

2008年 10月 4(土) 5(日)

～奈良づくり手の市～ ●なら100年会館 (☎0742-34-0111)

奈良が芽吹く

選都1300年を迎える古都・奈良。シルクロードの終着点として、天平文化が開いたこの土地で、新たな文化が生まれようとしています。beanは、次の100年、さらに1000年先へと続いていく奈良の未来を形づくろうとするつくり手たちが終結する、芽吹きイベントです。

4(土)

14:00  
16:00

なら国際映画祭シンポジウム ●なら100年会館中ホール ●無料

(共催：NPO法人 なら国際映画祭実行委員会／奈良県立大学 後援：読売新聞大阪本社)

「なら国際映画祭」は、日本で初めての「本物」の国際映画祭です。文化は、かならず「まち」を元気にします！これは、1300年目からの再出発です。日本で一番古い「まち」が、新しい人々へ希望とチャンスをもたらします。この歴史的瞬間にあなたも立ち会える！  
モデレーター：河瀬直美／国際映画祭実行委員会委員長・映画作家 1969年奈良市生まれ。  
ゲスト：辰野勇／モンベルグループ代表・冒険家 1947年大阪府堺市生まれ。  
Alex Kerr(アレックスカー)／東洋文化研究者・著述家 1952年米国メリーランド州生まれ。

4(土)

なら国際映画祭プレ企画 「～映画の中の世界遺産～」河瀬直美作品映画上映 ●1000円(前売り900円)

10/4(土) 18:00～ 『殞の森』  
10/5(日) 10:00～ 『沙羅双樹』 14:00～『殞の森』

奈良で生まれ育ち、奈良を舞台に作品を造り続ける映画監督・河瀬直美。彼女にとって、奈良の町並みや森は、世界遺産溢れる貴重な場所でありながら、幼少の頃から親しむ、思い出あふれるご近所の町や裏山でもあります。その視線で表現された奈良は、日本の枠を越え、世界中で大きな評価を受けています。春日奥山原始林と奈良市田原地区で撮影し2007年のカンヌ国際映画祭でグランプリを受賞した『殞の森』、2003年のカンヌ映画祭コンペティション部門に選ばれ、ならまちやバサラ祭りを舞台に命の賛歌を描いた『沙羅双樹』。奈良の多様な魅力を納めた2作品を上映します。

※各回とも、河瀬直美監督・出演者らによるスペシャル・トーク有り  
※『殞の森』は英語字幕版での上映になります

『殞の森』田原・風の高原＝風を感じる旅＝

『殞の森』の撮影が行われた奈良市田原地区で、ロケ地をめぐるバスツアーを開催。実際の映画出演者が、撮影中の話も織り交ぜて案内します。

ツアー内容：◆映画鑑賞 10月4日(土) 18:00又は5日(日) 14:00に『殞の森』鑑賞。  
◆ロケ地巡り 10月5日(日)・6日(月)のどちらか一日。両日とも10:00 JR奈良駅前出発で貸し切りバスにて奈良市田原地区へ。ロケ地を巡り、撮影中にスタッフ・キャストの食事場所であった「もがり食堂」を再現。地元食材を使った自然の恵みいっぱいの昼食をいただきます。15:00解散予定。  
[問合せ先] 近畿日本ツーリスト奈良支店 0742-23-4891(担当：田畑)

EVENT

4・5日ともに開催

「奈良を切り取る」アート展示

会期中、随時展示

奈良に惹かれたアートのつくり手たちも市に参加。奈良にちなんだ作品を、会場の100年会館の中で展示します。

「奈良を造る」クラフトマーケット

10:00～17:00  
なら100年会館前「時の広場」

陶芸・木工・染色・ガラス細工など、オリジナリティあふれる作品をひとつひとつ手で作っているクラフトのつくり手たちが、自ら制作した作品を一挙持ち寄り、この日限りのお店を出店。なら100年会館前の「時の広場」に50店以上のブースが立ち並び市が出現します。

「奈良を食す」フードマーケット

10:00～17:00  
なら100年会館前「時の広場」

奈良のうまいもん屋台が特別営業。独自の飲食店を営む奈良の料理人たちが、この2日間は特別にお店を飛びだし、それぞれのお店の自慢の料理をふるまいます。多国籍で個性豊かな屋台が、なら100年会館前に立ち並びます。



Nara International Film Festival

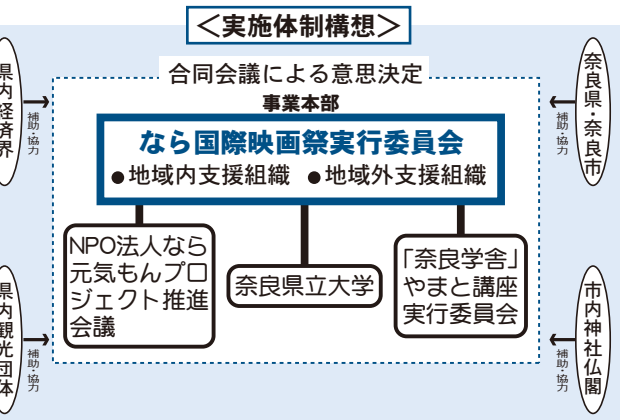
ここを描く vol.2

なら国際映画祭が

「地方の元気再生事業」に選定！

NPO法人なら国際映画祭実行委員会(河瀬直美委員長)が申請していましたが、なら国際映画祭が国が取り組む「地方の元気再生事業」にこのたび選定されました。全国から1816件の申請があり、近畿では11件が選定されたうちの1件です。昨年8月に準備委員会を設置、その後本年4月にNPOの認可を受け、その後も地道に活動を続けてきました。この認定によりようやく大きな一歩を踏み出すことができます。

本年の活動は、▽サポーターを募集し支援組織を構築、▽ホームページ(日本語・英語)の開設▽シンポジウム等の開催▽宿泊型体験講座の企画・運営、といったことにより、「映画祭とはどんなものなのか？」ということも伝えながら、なら国際映画祭に関心をもってくださいる方々を増やし、2010年の第1回なら国際映画祭の開催を目指します。





NARA 2014年8月  
**奈良の魅力って何ですか？**  
 企業人に聞く



今月の企業人  
 奈良トヨペット株式会社  
 取締役社長 菊池 武之祐氏



静寂と土の香りをを感じる奈良。  
 今、その精神性の深さと品格の高さを考えたい。

学生時代の反抗から使命感へ

私は奈良で生まれ18歳までこの地で育ちました。大学生の頃から環境問題への関心が高く、アメリカのラルフ・ネーター（排ガスへの論議や大企業批判などの社会運動家）に共鳴して、父がディーラー経営をしていたにも関わらず、運転免許も取っていませんでした。しかし大学卒業後に渡米しましたが、公共交通機関がほとんどない当地では、車がなければどこにも行くことができません。皮肉にもアメリカで免許を取ることになったわけですね。

私の祖父、菊池武三郎（1894～1973年）は販売の神様と言われたトヨタ自動車販売の神谷正太郎氏に請われ、全国トヨタ自動車販売店協会の初代理事長になり、奈良のディーラー経営よりもむしろ草創期の全国のディーラーのために奔走しました。一方奈良のディーラーもまだまだ経営基盤が安定せず、父菊池好之がモーターゼーション以前の困難な時期を乗り越えてきました。そんな祖父と父の姿を目の当たりにしている間に、ディーラー経営が自分にとってあたかも天職であり、後継者としての使命感が年を追うごとに大きくなっていったのです。

奈良トヨペットには米大学を卒業（1979年）して帰国後すぐ入社しました。父好之は非常に新しい考え方の持ち主で、まだ日本では珍しかったオフイスコンピュータ（オフコン）を導入していました。アメリカで当然のようにコンピュータを毎日

な木々の緑に囲まれて、特に高齢者や子供たちにとってはとても住みやすい環境にあると思います。例えば、春日若宮御祭りやお水取りなどの行事にしても、あるがままに淡々と粛々と進められていく、演出などは無縁の世界、さらびやかな京都とは対照的なところに、奈良の良さがあるのでしょう。二つの相反する想いから、奈良の新たな姿が見えて来るのかなとも思っています。

企業活動を通して品格を高める

私は50歳になったのを機にチェロを習い始めました。アナログの楽器であるチェロを子供のころから弾いてきた先生の言葉は、ビジネスの世界とは全く異なるもので、新しい視点をどんどん投げかけていただけます。車はデジタルの塊ですが、その車を販売するのは人であり、その意味で会社経営は正にアナログです。そのためにもチェロや他の様々なもので自らの感性を磨き、品格を高めることは、一生の課題であると思っています。

同時に昨今の社会問題が人心の荒廃にあることは明らかです。この日本発祥の地、歴史文化の宝庫「奈良」が、日本全国からより憧れの地になるよう、ディーラービジネスを通じて貢献していきたいと思っています。（談）

5月にオープンした  
 登美ヶ丘店  
**奈良トヨペット**  
 奈良市南京終町2-269  
 TEL 0742-62-0033  
 FAX 0742-62-7100  
<http://naratoyopet.jp/>

環境への思いやりは、ひとへの思いやり。ひとの思いやりは、環境への思いやり。  
  
 株式会社 互恵  
 〒630-0201 生駒市小堀町1348-1  
 TEL 0743-71-7377 FAX 0743-71-7378  
<http://www.gokei21.co.jp>

細く長くのおつきあい  
**三輪**  
 〒633-0022 奈良県奈良市東門外990 TEL:0744-43-4861(FX)  
 〒633-0022 奈良県奈良市東門外990 TEL:0744-43-4861(FX)  
<http://www.mitsuwaka.co.jp>

伊勢・鳥羽・志摩へは近鉄特急で快適に!  
  
**近鉄**  
 旅客案内テレフォンセンター  
 (9:00～19:00、年中無休)  
 06-6771-3105  
<http://www.kintetsu.co.jp/>

四季折々美味探求  
 ぬさざ寿司や柿の葉ずし、創作すしの風味豊かな手づくり味をお楽しみください  
  
**中谷本舗**  
 〒631-0011 奈良市持樽町2141-1  
 TEL:0742-68-5000 FAX:0742-68-5330  
<http://www.izasa.co.jp>

奈良豊澤酒造株式会社  
  
 奈良市今市町405番地  
 ☎0742-61-7636  
<http://nara-toyosawa.jp/index.htm>

神楽の清水の里  
**梅乃宿**  
 万葉の浪漫が薫る大和の地酒。  
  
**梅乃宿酒造株式会社**  
 奈良県葛城市東室27 TEL:0745-69-2121  
 URL: <http://www.umenoyado.com/>

KIRIN  
**奈良のほんもの**  
**キリンマ**  
**乾杯!**  
**キリンビール株式会社**  
 奈良統括支社  
[www.kirin.co.jp/kansai](http://www.kirin.co.jp/kansai)  
 飲酒は20歳になってから。  
 飲酒運転は法律で禁止されています。

The Grand Suite  
**NEW ALPHARD**  
**誕生**  
  
**奈良トヨペット**  
 ☎0120-167-567  
<http://www.naratoyopet.jp>



これからも「ずっと」  
 あなたとともに...  
**南都銀行**

あなたの未来は、  
 私たちの未来です。  
 あなたの大切な未来に向かって、  
 南都銀行はあなたの  
 頼れるパートナーで  
 あり続けたいと考えています。  
 これからも「ずっと」  
 あなたとともに  
 あゆみ続けていきます。

ナント・なら・ずっと!  
**NANTO 南都銀行**  
 本店:奈良市橋本町16  
<http://www.nantobank.co.jp>

ナラワヨム 第11号  
 平成20年8月20日発行

企画編集  
 奈良県立図書館

発行責任者  
 乾 昌弘

発行者  
 【ナラワヨム発行委員会】  
 (株)南都銀行  
 (株)明新社  
 キリンビール(株)奈良統括支社  
 梅乃宿酒造(株)  
 奈良豊澤酒造(株)  
 (株)中谷本舗  
 近畿日本鉄道(株)  
 (株)三輪そうめん山本  
 (株)互恵  
 割烹 つる由  
 丸山繊維産業(株)  
 奈良トヨペット(株)  
 近鉄観光株式会社  
 (株)植嶋

編集協力  
 (株)読売奈良ライフ

題字  
 紫舟

本誌の無断複写・複製・転載を  
 禁じます。



編集後記

今号からのメインテーマは、「奈良でつくる」です。奈良でのさまざまなものづくりからその姿を探ろうと考えています。

ところで、最近の世界的な石油価格の高騰や食をめぐる安全性など、想像する以上に深刻な社会状況のなかで、われわれは、否応なしに足元を見つめ直さざるを得なくなっています。経済のグローバル化や市場主義がもたらした影が覆っているかのようです。

そんななか、自然に逆らわず、自然とすなおにつきあい、また対話しながらものづくりをする方々に出会いました。

今号のテーマは「土とともに生きる」です。土と直接対話しながら生み出されるもの、そこにこめられる想いが伝わってきます。そこに共通するのは、つくったものが、必要とする人にわたり、互いに喜びが分かちあえるという何ともシンブルな幸福のかたちです。土地と人間が互いにもつ原初の記憶みたいなものを垣間見た気がしました。

最後に、今号の発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。(イ)

**7色印刷・イベント・IT・セールスプロモーション・ノベルティ**


**株式会社 明新社**  
 MEISHINSHA  
 URL <http://www.meishin.co.jp>  
 E-Mail [info@meishin.co.jp](mailto:info@meishin.co.jp)

本社 630-8141 奈良市南京終町3丁目464番地  
 TEL 0742-63-0661 (代) FAX 0742-63-0660  
 大阪営業所 543-0001 大阪市天王寺区上本町6丁目6番1号  
 TEL 06-6771-4501 (代) FAX 06-6773-0492  
 もちいどの店 630-8217 奈良市橋本町36番地  
 TEL 0742-23-3131 (代) FAX 0742-26-0093


**M.P.S. +RGB PRINTING**  
 20000116(02)  
 印刷品質保証


**ISO 14001**  
 JQA-EM2026  
 本社


**PRINTED WITH SOYINK**  
 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

お菓子の総合商社


**株式会社 植嶋**  
[www.ueshima-net.co.jp](http://www.ueshima-net.co.jp)  
 本社 〒636-0193  
 奈良県生駒郡斑鳩町電田2丁目2番11号  
 TEL (0745)74-1111(代) FAX (0745)74-0251

奈良・春日奥山 **伊日亭**  
 TSUKIHI TEI



 奈良市春日野町158  
 TEL.0742-26-2021  
**近鉄観光株式会社**  
<http://www.kintetsu-kankou.com/>

丸山繊維産業株式会社


**丸山繊維産業株式会社**  
 〒630-8371 奈良市光明院町五番地  
 TEL. 0742-22-8851  
<http://marumachi.nawrap.com>

蚊帳のルーツを大切に、  
 粗目織物一筋。

割烹 **つる由**


**つる由**  
 奈良市橋本町212-1  
 0742-26-7798  
 奈良市福智院町2-1  
 0742-27-3025